



IC付きエコバッグを使ったシステムで 真の「エコ」の実現へ

レジ袋の製造や廃棄による環境負荷を減らすため昨年から始まった「レジ袋有料化」。しかし「次はエコバッグの大量生産に伴う大量廃棄を懸念しているんです」と、箕面市の株式会社MILKBOTTLE SHAKERS(ミルクボトルシェイカーズ)代表の喜多泰之さんは話す。同社が今春から開始したエコバッグシステム「Loopach(ルーパック)」は、「企業の作りすぎによるエコバッグの無駄をなくす」ことを目標に掲げる。生みの親である喜多さんは「これまでの経済的価値観を変えたい」と挑戦の日々を続けている。

誕生までの経緯

初の自社ベンチャー事業となるLoopachは、これまでの喜多さんの経験がヒントになった。20代に仕事で訪れた海外では、同世代に「日本人はいつまで“プラバッグ”を持っているの？」と批判的に言われた。一方で国内の梱包材メーカーからは「レジ袋が有料化になったとたん、自分たちが悪者扱いされるようになった」という嘆きも聞こえた。日本人の環境意識の低さや、業界のひずみを知った。また前職での活動や企業のコンサルティングに関わるうちに、「今後は環境や社会を見据えたビジネスは成長のため不可欠になる」と確信した。「今はアパレル業界でも、再利用する『リサイクル』や、さらに付加価値を付ける『アップサイクル』が浸透してきました。それもいいのですが、本当の意味で環境を考えるのであれば、『1つのものを長く使う』という価値観を持つことが大事なんです」と喜多さん。以前から関心のあ

ったアパレル業界における「大量生産・大量廃棄」の問題とともに、これまでの仕事を通じて実感した、将来のビジネスの在り方を組み合わせたアイデアがLoopachとして形になった。

システムの仕組み

Loopachの仕組みはこうだ。ICタグ付きの専用エコバッグを購入した消費者は、協力企業や店舗にあるリーダーで、買い物をするごとにICを読み込む。事前にスマホなどにインストールした専用アプリ内でポイントが貯まり、レジ袋を使用しない日々の積み重ねが可視化でき、環境への貢献を実感できる。また、ポイントは基金として利用され、非営利法人やソーシャルベンチャーへの寄付や投資が可能となる。営利のみを追求する企業が参入して本来の目的からそれるのを防ぐため特許も出願。今は専用バッグのみだが、今後は他社とも連携して、カバンや繰り返し使えるカップなど、容器や収納用具全般で展開する計画もある。



PROFILE

喜多 泰之 さん

株式会社MILKBOTTLE SHAKERS代表。豊中市在住。アパレル業界で働く両親のもと、幼い頃からファッションに興味を持つ。学生時代からアルバイトをしていたアパレル企業「アーバンリサーチ」に就職。店長職からブランドPR、バイヤー、イベント企画など多岐に渡る業種を経験し2018年退社。同年、フリーのブランディングディレクターをスタート。2019年にブランディングやマーケティング、コンサルティングを手掛ける現在の会社を設立。

12 つくる責任 つかう責任

「つくる責任 つかう責任」

一つのモノを長く使うほどに価値が向上していく仕組みを形成することで、モノの作り過ぎによるSDGsウォッシュを防ぎ、環境負荷軽減に貢献。

17 パートナリプで 目標を達成しよう

「パートナーシップで目標を達成しよう」

事業者・市民・非営利団体などのマルチなステークホルダーで手を取り合い、地域単位で文化形成をしつつ社会課題へアプローチしていく。



加盟店で置かれる予定のICリーダー。「レジでお会計をする際に「袋いらないです」ではなく、「Loopachで」とみんなが言っているのが自然な光景になると最高ですね」と喜多さん。

大阪・関西万博までに 「関西で当たり前」に

システムを成立させるためには、消費者と同時に協力企業の賛同が不可欠だ。Loopachは従来のビジネスモデルとは異なり、非営利の側面も大きい。一部のグローバル企業は関心を寄せているが、まだまだ一般企業や個人商店にはハードルが高い。大手企業・団体への賛同を募りながら、喜多さんは「地域の商店街にこそ興味を持ってもらいたい。地元の個人商店の方が意義に賛同して使うことで、身近な人々の価値観にも影響するのではないかな」とも考える。今後の展望については、「2025年の万博までに、『関西ではLoopachが当たり前』になってほしいなと思います。世界初のシステムでもあるので、日本に来た海外の皆さんに『なにこれ? いいね!』と新鮮な驚きを与えたいですね」と語る。ポイント寄付で社会に貢献できる“真のエコバッグ”。喜多さんの挑戦はまだ始まったばかりだ。



上質なバッグであることはもちろん、外箱のパッケージにもこだわって生分解可能な素材を使用。側面には「Loopach is your last shopping bag.」とメッセージが書かれている。

Loopachのビジネスモデル



SDGsとは「持続可能な開発目標」のこと。2015年の国連サミットで採択された。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標だ。地球上で「誰一人取り残さない」社会を実現するため、17の目標と169のターゲットを設定している。

摂津市商工会

強みを引き出す事業承継セミナー ～円滑な事業承継に向けて～

将来に向けて事業承継の準備を検討している方、自社の隠れた強みを把握し、事業に活かしたい方におすすです。

【日時】 ※各日14時～16時
8月26日(木)
決算書で見えない強みを把握し、自社の価値や強みを把握する方法を伝授
9月28日(火)
持続化や事業再構築等の補助事業計画書の採択率を上げる方法
10月21日(木)
事業承継のはじめ方や進め方。自社の魅力を後継者と考え共有する方法。

【講師】岩橋亮 中小企業診断士
場所: 摂津市商工会 有料P有
摂津市南千里丘4-35 3階
(+オンライン配信)
【問合せ】摂津市商工会
TEL06-6318-2800



茨木商工会議所

渋沢栄一の事業・経営理念について 講演会 開催

実業界の父渋沢栄一、2021年3月からスタートしたNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、日本で初めての商工会議所の会頭も務めました。

【日時】9月6日(月)
14時～15時半
【会場】立命館いばらきフューチャープラザ 2階グランドホール (茨木市岩倉町2-150)
【講師】(公財) 渋沢栄一記念財団 渋沢栄一史料館 業務執行理事 館長 井上 潤氏
【参加費】無料 (定員300名)
【申込方法】当会議所HPから
【問合せ】茨木商工会議所
TEL 072-622-6631



高槻商工会議所

新型コロナウイルス感染症対策にかかる 政府支援策の活用と個別相談会

【日時】●講習会 8月20日(金) 14時～16時
●個別相談会
9月6日(月)・17日(金) 各日10時～16時
※小規模事業者持続化補助金(低感染リスク型ビジネス枠を含む)にも対応しております。

【会場】高槻商工会議所 (高槻市大手町3-46)
【内容】消費税の総額表示義務化・コロナ関連の影響に対する「経営力強化」の重要性について/経営計画書の書き方・作成手順について/補助金申請について
【受講料】無料

【申込み・問合せ】高槻商工会議所 中小企業相談所
TEL072-675-0484
詳しくはお電話か 右のQRコードから



商工会 商工会議所 通信

SYOUKOUKAI SYOUKOUKAIGISYO TSUSHIN

商工会・商工会議所は地域企業の振興や地域の活性化に日夜努力しています。でも具体的にどんな活動をしているのか知らないという人も少なくないのでは? そんな商工会・商工会議所の活動を今月も紹介します!